

# 明治期の地方官の書簡を読む

## 【翻刻】

史料① 楫取素彦書簡（今晚面会御断）

【白根家 No. 10】

今日ハ当駅御来着  
之由、早速御自書并  
御土産御持を被下  
御芳情深奉謝候、  
今晚御見舞申度  
途中迄罷出候処、  
昨今少々心配ニ相成候  
件有之、彼はニ而来  
客、終二引返シ、今晚ハ  
御無沙汰可仕候、明日午  
後より茶会之様ナ  
ルモノヲ以テ御案内  
申度御夫婦様ニテ  
水辺小亭江御来賁  
ヲ願候積リ、孰明朝ハ  
参堂可仕候得共先ハ  
御見廻御断ハリ旁  
草々如此候、頓首  
十月二十一日  
素彦  
白根様  
座右

史料② 楫取素彦書簡（高崎士族ノ動向）

【白根家 No. 1】

甚熱難凌候処、弥御揃

御万福奉賀候、近来御  
病症如何ニ候哉、心外之  
御無沙汰背本意ニ候、此  
節御聞及ニ可相成、管下  
高崎士族共同駅商人  
ヲ煽動紛議ヲ起シ、格  
別心配ニ渉ル程之事も  
無之候得共、何分聞分無  
之ニハ入り入申候、萩表杉  
民治迄御懸合一条如何  
相成候哉、御病中御氣や  
かま敷候得ハ、已ニ其発言  
ヲ御煩ハセ申候以上ハ小生より  
直接ニ文通仕候様致度、  
必ス深ク御配意被下間敷候、  
県下赤城牧社ニ而製候粉  
牛乳六瓶、馬車便呈上  
御笑留可被下候、生乳御  
用ニ際乾乳ヲ呈候ハ不都  
合ニ候得共、陸軍病院杯  
乳質之精良ナル由ヲ以毎  
々需求ニ預リ候故差出申候、  
御試可被成候、時下万々  
御大切御養生奉專禱申候  
先ハ御見廻迄、草々如此候、

頓首

八月九日

素彦

白根様

侍史

二白、奥方様ニも宜敷御  
鶴声可被下候、以上

(封筒)

(表)

東京湯島梅園町貳番地  
白根埼玉県令殿

親展

(裏)

群馬県前橋

楫取素彦

八月九日発

**史料③ 楫取素彦書簡（高崎士族騒動）**

**【白根家No.13】**

朝夕ハ少々凌能相成候処、  
御病状如何御座候哉、  
先ツハ御平穩之様ニも承  
り御療養此際別し而  
御大切と奉存候、過日ハ瀧  
口吉右衛門電信ヲ御示し  
被下彼方相談振相調候趣、  
尚昨日民治方去月二十四日  
附書状差送り本人納得  
候由ヲ報シ越候、即民治方  
尊台江ハ直チニ御答申出  
候トノ事、御病中種々御手  
数ヲ相掛候段奉恐入候、  
今後ハ幸便ヲ聞繕、本人ヲ出  
京為致可申、最早御心配  
被下間敷候、先ハ此ノ件得  
尊意度過日之御答旁  
草々如此候、頓首

不備

九月三日 素彦

白根明府尊下

追申、御療養幾重ニも  
御手拔かり無之様專祈  
仕候、乍末筆御家族様方  
ニも宜敷御致意可被下候、  
以上

管下高崎一件も今日ニテハ  
泣寝入り之姿、一時ハ内  
務省直訴云々申触候処、  
右ヲハ変換上等才判ニテ  
彼等書面ニ附箋之廉不  
伏ヲ訴候手筈ニ致哉之  
趣、もはや格別之事も有  
之間敷、尤貧窮士族之  
有ン限りハ面倒ノ絶間ハ有  
之間敷乎、是ニハ困りもの  
と奉存候、以上

素彦

白根様

(封筒)

(表)

東京湯島梅園町式番地  
白根埼玉県令殿

親展

(裏)

九月三日發

群馬県前橋

楫取素彦